

国立大学法人山梨大学

法人番号：40

申立ての内容	申立てへの対応
<p><b>【評価項目】</b> 1 全体評価 (業務運営・財務内容等)</p> <p><b>【原文】</b> 「一方で、大学院専門職学位課程における学生定員未充足があったことから、改善に向けた取組を行うことが求められる。」</p> <p><b>【申立内容】</b> 削除願いたい。</p> <p><b>【理由】</b> 本原案で示された定員未充足の主な要因は、平成29年度入試において、確実に入学を見込んでいた合格者が2名辞退したことにより、平成29・30年度の定員充足率がそれぞれ90%を下回った(89.3%)ことである。この状況を改善するため、学生確保に向けた多様な取組(広報活動の強化や、山梨県教育委員会との「教職大学院に係る教員派遣に関する覚書」の締結、修士課程廃止による改組・一本化(入学定員14→38名))を推進してきた。これら取組の結果、令和元年度の充足率は94.2%に改善されている(なお、4年目終了時までの平均は94.1%である)。さらに、本学と山梨県立大学の学生を対象とした成績優秀者の特別待遇学生制度を新設するなど対策を強化し、令和2・3年度もそれぞれ96.1%の充足率を確保している。</p> <p>このように、第3期前半の課題を期中に速やかに改善していることから、記述についてご再考願いたい。</p>	<p><b>【対応】</b> 原案のとおりとする。</p> <p><b>【理由】</b> 中期目標期間評価は、評価実施時点における中期目標期間全体の業務の状況についての調査・分析をもとに行うものであり、第3期中期目標期間中2か年にわたり学生定員の未充足が生じていることを勘案し、中期目標の達成状況を「おおむね順調」と判断しているため。</p>

<p>【評価項目】 2 項目別評価 Ⅱ. 業務運営・財務内容等の状況</p> <p>【原文】 「【評定】中期目標の達成に向けて<u>おおむね順調</u>に進んでいる (理由) 中期計画の記載9事項すべてが「中期計画を上回って実施している」又は「中期計画を十分に実施している」と認められるが、<u>大学院専門職学位課程における学生定員未充足があること等を総合的に勘案したことによる。</u></p> <p>&lt;特記すべき点&gt; (改善すべき点) <u>○大学院専門職学位課程における学生定員の未充足</u> 大学院専門職学位課程について、<u>学生収容定員の充足率が平成29年度及び平成30年度において90%を満たしておらず、令和元年度においては90%を満たしているものの、今後も引き続き、定員の充足に向けた取組に努めることが求められる。」</u></p> <p>【申立内容】 「【評定】中期目標の達成に向けて<u>順調</u>に進んでいる」に変更いただき、【修正文案】のとおり修正及び改善すべき点を削除願いたい。</p> <p>【修正文案】 「【評定】中期目標の達成に向けて<u>順調</u>に進んでいる (理由) 中期計画の記載9事項すべてが「中期計画を上回って実施している」又は「中期計画を十分に実施している」と認められる。」</p> <p>【理由】</p>	<p>【対応】 原案のとおりとする。</p> <p>【理由】 中期目標期間評価は、評価実施時点における中期目標期間全体の業務の状況についての調査・分析をもとに行うものであり、第3期中期目標期間中2か年にわたり学生定員の未充足が生じていることを勘案し、中期目標の達成状況を「おおむね順調」とであると判断しているため。</p>
---	---

<p>本原案で示された定員未充足の主な要因は、平成29年度入試において、確実に入学を見込んでいた合格者が2名辞退したことにより、平成29・30年度の定員充足率がそれぞれ90%を下回った(89.3%)ことである。この状況を改善するため、学生確保に向けた多様な取組(広報活動の強化や、山梨県教育委員会との「教職大学院に係る教員派遣に関する覚書」の締結、修士課程廃止による改組・一本化(入学定員14→38名))を推進してきた。これら取組の結果、令和元年度の充足率は94.2%に改善されている(なお、4年目終了時までの平均は94.1%である)。さらに、本学と山梨県立大学の学生を対象とした成績優秀者の特別待遇学生制度を新設するなど対策を強化し、令和2・3年度もそれぞれ96.1%の充足率を確保している。</p> <p>このように、第3期前半の課題を期中に速やかに改善していることから、「順調」であると考えており、評定をご再考いただきたい。</p>	
---	--